

雜事記

十六

章

漫錄

庫文閣内				和 書 類
三六函	架	三四五 四三號	冊	

庫文閣内				和 書 類
三三函	架	三四五 四三號	冊	

内閣文庫		
番號	和	34543
冊數	39 (16)	
函號	213	32



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM. Kodak



義経云軍歌

大將一人の云葉哉うわき目を見たりつかけをききよ
軍兵の物いふ大將の下知さく時いふをにわつ
くきもなうくふふふふふふふふふふふふふふふふ
軍をいうちと元如ふ人のたつ洞義哉うきふふふふふふ
大將の下知は夢のこぼ一つ皆去りまう地をさかち
かけをきき目取斗哉たのこふ唯暗の夜はつふふふ
時を味ふよりわい歌もうた肝要をきふ成る
目取ふきふふふふふふふふふふふふふふふふ
方角もふふふふふふふふふふ月日ふふふふふふふふ

歌をたすめとありふふふふふふふふふふふふふ
法良を石ふふふふふふふふふふふふふふふふ
唐土の七様及けたりふふふふ高池の下知哉ふふふ
ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
かふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
たきふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
りふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
朝軍たふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

大將の意なきるのちなりとも勝とて——うらなひまけ
りともあへ味方の人数なるるよりあつ——けふをいけ
かり大の天下の——勝る——地ふもふけい負と知る——
出陣の二日の内ふぬや風雷の路ある大事——せむと知
陣中ふきまき——きこる牛の音ききりないお討せ——
敵陣の敵多ふ取あ——たをのつ——陣代敵まよ
我陣乃らりりめ小敵——けのうまひあり大事——
い——場ふ返ふの風は吹いぬむふぬ風ふぬと——
取ふけ——けり——きこる武士の大きき見——ききる静まる
合戦いたる天原のきこるぬる陣代あり——信ふをせよ

大將の信ふある軍多の——さふかふとふと——
けのらりり新まつ——新まつまよけさきんとの天原の若
目と月か日敵を——まふ人——の陣代をまふい方角をふね
い——大將陣をいふいふき家——うさるぬい魚鱗ぬ——

ふか川をぬる陣代川ふ大將多——軍多代ふ大將を末陣
とふふありふ細らり

敵の陣代多ふふのあり——味方の陣——や——小
敵の陣ふふふ——味方ふふ二つふふ——中をわく——
知人ふふふ——戦ふ武士の大事にふふ陣代ふ——
陣代ふふふ——つくとふふ——ふ陣もふぬふ陣もふぬ
出陣ふふふ——新まつ——新まつ成就のふふ小出——

目能と其大將のちり多やすり此をわく月日をいれ
きてのち此歌へあむいあそうい味方へあひく時をうけ
貝の音乃そのいうくい音事につまりあひく情をあき
焼のあんをそそくいあひくをすりあひ陣は破れを
毎火の大きありともあひくあひくあひくあひくあひく
露のちの風吹かひくいあひくいあひくいあひくいあひく

柳の音ふたつたつたつたつたの音陣はあ

我子にちをけかひくいあひくあひくあひくあひくあひく
月小そふあひくあひくあひくあひくあひくあひくあひく
初めあひくあひくあひくあひくあひくあひくあひくあひく

歌のあひくあひくあひくあひくあひくあひくあひくあひく
矢初あひくあひくあひくあひくあひくあひくあひくあひく
あひくあひくあひくあひくあひくあひくあひくあひく
軍陣をくあひくあひくあひくあひくあひくあひくあひく
軍法ふ百子あひくあひくあひくあひくあひくあひくあひく
陣のくあひくあひくあひくあひくあひくあひくあひくあひく
あひくあひくあひくあひくあひくあひくあひくあひく
我子のあひくあひくあひくあひくあひくあひくあひくあひく
大將のあひくあひくあひくあひくあひくあひくあひくあひく
あひくあひくあひくあひくあひくあひくあひくあひく

り付まふも候もあつて永引いたる敗軍のりふ成り
そのまふ見物虎のあつたきひもいふ先づき
二人あけつたひのち多をもあつて何また人の師を
人の城人の石垣人の城あさけは味方の敵なり
りのまふあつていふきり片兵具つたき成もけつて
敵陣ふま人のいふてふ必も候なりとてつ
いふひもあつていふきり片兵具つたき成もけつて
馬人のいふてふ先づき馬のあつていふきり
馬のいふてふ先づき馬のあつていふきり
馬のいふてふ先づき馬のあつていふきり
馬のいふてふ先づき馬のあつていふきり

武具を具をたしあまふは大将をかうしあつた
大将の忠もあつていふきり片兵具つたき成も
大将のいふてふ先づき馬のあつていふきり
敵の勝のあつていふきり片兵具つたき成も
あひあつていふきり片兵具つたき成も
いふてふ先づき馬のあつていふきり
つたきり片兵具つたき成も
あつていふきり片兵具つたき成も
あつていふきり片兵具つたき成も
あつていふきり片兵具つたき成も
あつていふきり片兵具つたき成も
あつていふきり片兵具つたき成も

大將の軍の負くかまを以てたて切死かふを祈よ——
弓取に我の三刀を以てまて——物欲の遠くをふ近のわ
大將も我とをいまを——武略のふ常にな——あ
ふ車もあふふ——不覺のソリをば——い——えん
妄言戒らねい武略のふをふれい——軍の勝
先の勝を——ゆりて大將の欲の競戦早くかふはれ
いゆりて丸くかふはれを——つ——をぬか——か——を
はたていふ大事のふ——時身にたてぬを忠といふあり
軍場ふ——死骸多——必——い——ふ——川
軍場ふ——死骸多——必——い——ふ——川

押しゝ執ふ人きめりぬめかゝ負を知りて去りてゐるか
押しゝ執ふ人きめりぬめかゝ負を知りて去りてゐるか